

個人サポート・システム

対話

の

心得

人生を変える
対話
必読テキスト

Ver.2.0

秋元ユキ

@いい気分ドットコム

<http://i-kibun.com/>

「考えを変換する」ということができるようになるのは、面白い。

多くの者は、「対話をする」ということに、何らかの誤解をもっている。

対話とは、あなたの意見とは違う者と、同じ目標を目指す場合に、納得するまでおこなうものである。

個人サポート・システム

対話

の

心得

人生を変える
対話
必読テキスト

Ver.2.0

秋元ユキ

@いい気分ドットコム

<http://i-kibun.com/>

個人サポート・システムにお申込みいただき、ありがとうございます。
「いい気分ドットコム」管理人の、秋元ユキです。

私が、「内なる声」と呼ぶスピリチュアルな存在との
対話における、通訳を務めさせていただきます。
よろしくお願い致します。



アイコンは「創製アイコン
メーカー」で作りました

これから、あなたと「内なる声」が対話を開始するにあたって、さまざまな
疑問や質問についての不安を解消し、対話を充実したものにさせていただくた
めの、テキストをご用意させていただきました。

じっくりとお読みの上、テキストにおいて理解されたことを対話に活かし、
あなたのわからないところを、「内なる声」にご質問なさってください。
対話をおこなうにあたって、このテキストがあなたのお役に立ちますことを、
心より願っております。

このテキストは、人生を変える対話の方法や考え方について、「内なる声」が
詳しく説明された内容を、忠実にわかりやすくお伝えするべく管理人が丁寧
に編集し、お手元にお届けしているものです。

テキストの使用に関しましては、下記の点にご注意ください。

当テキストの一部または全部を、複製・転用・販売される
行為は、法律に違反します。

内容をコピーして友人などに配布したり、インターネット
で公開・転売したりすることも、禁止しております。

個人サポート・システムご利用の際に、あなただけにお読
みいただくためのテキストですので、大切に保管してくだ
さいますようお願い申し上げます。

秋元ユキ／いい気分ドットコム

— 目次 —

はじめに

前に進もうとすること	・・・ P6
あなたに協力する	・・・ P7
人生の責任をもつのはあなた	・・・ P9

第一章 行動するために対話を始める

「現実」にあなたに対応する	・・・ P11
あなたが「動く」ということ	・・・ P14
何かをしなければならない	・・・ P17
何かを始めるためのきっかけ	・・・ P19

第二章 対話をするということの意味を知る

話し方を工夫する	・・・ P23
違う意見を聞いてみる	・・・ P25
「自分」のことを考える	・・・ P28
本当に面白いと感ずること	・・・ P32

第三章 対話をするための目標を定める

目標を定める話をする	・・・ P36
なぜこの対話に申し込んだのか	・・・ P39
目標を明確にしていく	・・・ P42
あなたがやりたいことを決める	・・・ P46

第四章 納得するまで考えを話す

- 納得するまでおこなう . . . P50
- 利益を増やすということ . . . P53
- あなた自身のことを知る . . . P56
- ハイヤーセルフの一任 . . . P59

第五章 改善すべき点を見出す

- 「知らない者」として話す . . . P63
- 「自分」のことを見直す . . . P65
- 前向きな姿勢をもつ . . . P68
- おこなうべきをおこなう . . . P72

まとめ

- 対話を開始する前に . . . P77
- 目標を記入してみる . . . P78
- うまく対話ができないときには . . . P79

はじめに

前に進もうとすること

これから、私との対話を開始しようとするあなたへ。

私は、あなたに言いたいことをもっている。

それは、このテキストを読むことによって、「あなたがこれから何をしようとしているのか」というところを、見失うことのないようにして欲しいということ。

あなたがこれからおこなうべきは、「対話を弾ませようとする事」ではない。

もちろん、この対話を十分に活用していただきたいとは思っているのだが、あなたのおこなうべきは、「前に進もうとすること」であって、私と「対話を続けようとする事」ではない。

私は、「あなたが、前に進もうとすること」以外に、興味がない。

あなたに「前に進む」ということを理解してもらい、あなたが必要なことを理解して進もうとするための対話を、あなたのためにおこなう。

それ以外のことを私に求めても、無駄だと思う。

私は、あなたが「納得して、前に進みたい」という気持ちをもつことを、望んでいる。

そして、自分自身がそうするための工夫をおこない、そうするための行動を起こすという気持ちをもって、生きて欲しいと思っている。

あなたが、そういった心をしっかりともっていることが難しいと感じるときに、私はあなたと対話をすることが可能であるし、あなたに多くを理解させ、

あなたにしっかりと心得をもたせようとし、明日を生きるために相談に乗ることが可能。

それを踏まえた上で、あなたが「対話をする」ということの有益さを理解することを、願ってやまない。

「対話をする」ということがきちんとできるようになることは、あなたの人生において、必ず役に立つ。

この対話をきっかけに、あなたの人生を充実させるべく前に進もうとし、同時に「対話をする」ということの何たるかを、学んで欲しい。

あなたに協力する

どこに行っても、「対話をする」ということは、大切だと言える。

あなたは、対話をすることによって、あなたが知り得なかったことを知ることがになり、一人では理解できなかったことを理解できるようになる。

それが具体的にどういうことか、いまはわかっていなくともかまわない。とにかく、そこから前に進もうとしているあなたの行動の一つに、必ず「対話をする」ということは、必要になってくる。

あなたの知らないことを知っている者は必ずいるし、あなたが知っていることを知らない者を見ることによって、理解できることもあるだろう。あなたが、「前に進んでいくための対話」をしようとすることによって、得るものが増えるということは、間違いない。

ところが、多くの者は、「対話をする」ということに、何らかの誤解をもっている。

例えば、自分の意見とは違うことを言われると、途端に自分が責められているのかもしれないという勘違いを始めたり、自分という人間の知識を広く見せようとしたり、自分の考えを変えることを恥としてとらえたりしている。そういう考えをもって対話を進めると、必ず途中に対話の目標を見失うことになるので、注意して欲しい。

あなたは、この対話においては、等身大の自分に戻らねばならない。

普段から、心理的作戦をもって対話を進めようとする癖のある者は特に、等身大に戻らねば、話ができないと思って欲しい。

私には、心理的作戦は通用しない。

あなたは、その分時間を無駄にすることになるため、例えば普段はつくり笑いをして相手に合わせたりするところを、取り払って話そうとしたほうが、てっとり早い。

あなたのためにならないことは言わないので、そうして欲しい。

「いまの自分に必要なことは何か」ということを第一に考え、あなたの余計な考えを、脇に置いて欲しい。

なぜなら、そうして真剣にこの対話に挑もうとするならば、私は、あなたに協力することが、可能になるからである。

素直に困っていることを話し、「自分にとっては解決することが難しいのだ」と説明し、あなたの目標をもって私に相談しようとしてくれるのであれば、私は、必ずあなたに協力する。

なのに、それだけのことができない人間は必ずいて、仕方ないので私は「どうしてあなたはそのような話し方をするのか？」というふうに、余計なことを考えていることを理解してもらうための対話から始めることになってしまう。

もちろん、そこから始めてもかまわないのだが、そんなときには必ず「それ

で、あなたの目標は何か？」と問いたいような話になってくる。

話というのはいくらでもできるものであるが、短い間におこなわれるのが普通で、要点をおさえようとしなければ、無意味なものになることも多い。私は、極力意味のある対話にするための言葉を発するが、あなたが、目標を見失う状態になってしまっは、元も子もない。

自分の目標を確認し、「自分のためになる対話」をするための、準備をして欲しい。

あなたに協力するという者が、ここにいる。
そのようにとらえて欲しいと思う。

人生の責任をもつのはあなた

私は、この対話についてこう考えている。

普通に人と対話をする事ができるのなら、私とも対話をする事ができると思って欲しい。
それから、あなたが自分の考えを述べようとする事によって、私の考えとの違いを知ろうとして欲しい。

あなたが考えていることを、より良いものに変化させようとする事。
それ以上に大切なことは他にないため、あなたがそうすることのできるよう、対話をおこなっていきたい。

あなたは、自分のことを話し、自分のことを理解し、自分が何をおこなうべきかということを考え、自分の生活の中において工夫を重ねつつ、対話を進めようとして欲しいと思う。

そうしなければ、すべてをこの対話にゆだね、あなたは何もしようとせず、あなた自身のことを話すのを避け、「何もしようとしないのは、この対話がうまく進まないせい」ということになってしまう。

あなたがそのように考えてしまうことのないよう、あなたの人生の責任をもつのはあなたであるという認識をもって、行動して欲しい。

あなたは、特にこの「行動」をするための対話に、重点を置くべき。

何もすることなく、人生は好転していかない。

いま、とても多くの経験を重ねてきたはずのあなたが、さらなる経験をしようとして対話をおこなうのかどうかというところが、鍵になる。

あなたが、あなたのために、より良い行動について考えるかどうかによって、変化が加わるかどうかが決まる。

すべては、あなたの考えを、どう変化させるかというところにかかっている。

私がこのように説明する理由を、これから話そう。